学校番号	1008

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭基礎　自立・共生・創造」（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自立」をしていく準備段階として、生活を主体的に捉え、主体的に営むために必要な基礎的な知識や技能を習得し、自ら問題を見出し課題を解決する力を養いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭，衣食住，消費や環境など，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定，解決策を構想・実践，考察するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な人々と協働し，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族･家庭の意義，家族･家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族･家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・実践，考察するなど，生涯を見通して生活設計・衣食住・環境の課題を解決する力を養う。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　生涯を見通す	・人生を展望する ・目標をもって生きる	a：人の一生についての考えをまとめることができる。 b：人生の各ライフステージの特徴と課題について知り，自分の生活や将来について考えを深め，発表などを通じて考えを表現することができる。 c：現在の自分のこと，将来の生活設計を考えることについて，意欲を持ってとりくもうとしている。	・考査	・考査 ・ワークシート ・レポート作成	・ワークシート ・課題への取り組み
	第2章　人生をつくる	・人生をつくる ・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会	a：青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 結婚，家族・家庭の多様化や，時代とともに変化する役割について理解できる。 b：図表などから家族の形，家庭のあり方や役割について，また時代とともに変化した背景について読みとることができ，現在の家族・家庭に関する課題・問題点について，解決へ導くための考えをまとめ，討論やレポートを通して発表することができる。 c：男女共同参画社会など，現在の社会的状況について，興味を持って知ろうとする態度がある。 結婚，家族・家庭の形，家族・家庭の役割について，自分とどうかかわっているのか，興味・関心をもとうとしている。	・考査	・考査 ・ワークシート ・レポートの作成 ・グループワーク ・発表	・ワークシート ・課題への取り組み

	第3章　子どもと共に育つ	・命を育む ・子どもの育つ力を知る ・子どもと関わる ・子どもとの触れ合いから学ぶ ・これからの保育環境	a：子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。生命の尊さ，子育ての意義について理解することができる。子どもの発達段階において，子どもをとりまく人とのかかわり，地域環境・社会環境の重要性，子どもの福祉について理解できる。 b：子どもの心身の発達，現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について，課題を見つけ，解決への考えをまとめることができる。 c：生命の尊さについて，自分の現在，将来と結びつけながら，学習しようとする意欲がある。子どもをとりまく状況について，現状を知り，その課題を見つけ，解決に向けて考えようとしている。	・考査	・考査 ・ワークシート ・レポートの作成 ・グループワーク ・発表	・ワークシート ・課題への取り組み
夏休み	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動	・生活をあらためて見直し，解決することを検討する。 ・具体的な解決方法を探り，実際に改善する。	a：自分で関心のあること，また生活から見えてくる課題を探すことができ，それに対する具体的な解決方法を考えることができる。 b：自身の活動についてレポートにまとめることができる。 c:生活を主体的に捉え自ら課題を見つけようとしている。	レポートの作成	レポートの作成及び発表	レポートの作成
2学期	第4章　超高齢社会を生きる	・超高齢・大衆長寿社会を迎えて ・高齢期の心身の特徴 ・これからの超高齢社会	a：高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 b：高齢社会の課題やその解決にむけて，新聞記事などを収集し・分析する課程において，課題の発見，解決の方向を導き出すことができる。 c：高齢社会の現状，高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り，高齢者とかかわろうとしている。	・考査	・考査 ・ワークシート ・レポートの作成 ・グループワーク ・発表	・ワークシート ・課題への取り組み

	第5章　共に生き、共に支える	・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方 ・共に生きる	a：社会福祉の意味，現在の社会福祉の状況，社会保障制度のしくみについて理解できる。 b：社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて，現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 c：生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	・考査	・考査 ・ワークシート ・レポートの作成 ・グループワーク	・ワークシート ・課題への取り組み
	第6章　食生活をつくる	・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 ・食品の選択と安全 ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理の基礎 ・食生活の文化と知恵 ・これからの食生活	a：食事の意義や役割，食生活をとりまく環境などについて，現代の食生活の課題が理解できる。 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ，それを実際の食生活に生かすことができる。 調理実習を通して，日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ，献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 b：自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し，課題解決のために思考し，解決にむけての判断ができる。 栄養の機能と食品、また食品の特性と調理との関係において，科学的な思考を身につけ，食品選択，栄養計算や献立作成など，実際の食事づくりにむけての判断ができる。 ・調理実習において，作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 c：自分自身の食生活について関心をもつとともに，自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。 調理実習においては，積極的に参加し，とりくもうとしている。	・考査 ・調理実習	・考査 ・ワークシート ・レポートの作成 ・グループワーク	・ワークシート ・課題への取り組み ・調理実習への取り組み

	第7章　衣生活をつくる	・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・衣生活の文化と知恵 ・これからの衣生活	a：衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ，用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 衣服材料の性能と特徴，衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって，衣服を適切に選択し，管理することができる。衣類の購入から廃棄まで，計画的な衣生活を営む知識を身につけている。 b：衣服の用途によって，適切な衣服素材を考え，判断することができる。 衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ，実生活での衣服管理において，適切な判断ができる。 c：基礎縫いの確認のための実習や，衣服調査などにおいて，積極的にとりくもうとする。	・考査 ・基礎縫い実習	・考査 ・ワークシート ・レポートの作成 ・グループワーク	・ワークシート ・課題への取り組み ・基礎縫い実習への取り組み
3学期	第8章　住生活をつくる	・住生活の変遷と住居の機能 ・安全で快適な住生活の計画 ・住生活の文化と知恵 ・これからの住生活	a：住まいの役割・機能について，地域の特性などをふまえ、日本独特の生活様式と，それに伴う住まいの特徴を理解している。 b：現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まいについて考えることができる。 ライフステージと住空間の設計の関係，住環境について考えを深めることができる。 c：住まいの機能，住空間の計画や住環境について関心をもち，快適な住まいづくり，よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。	・考査	・考査 ・ワークシート ・レポートの作成 ・グループワーク	・ワークシート ・課題への取り組み

	第9章　経済生活を営む	・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払のルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す ・これからの経済生活	a: 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき，また契約についての知識を身につけている。 家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 b: 消費行動における意思決定の過程について，具体的な事例を通して主体的に考え，判断することができる。 多様化する販売方法や支払い方法について，問題点や解決策を考え，判断することができる。 c: 自分が一消費者であることを自覚し，物・サービスの購入のあり方や，消費行動，消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	・考査	・考査 ・ワークシート ・レポートの作成 ・グループワーク	・ワークシート ・課題への取り組み
	第10章　持続可能な生活を営む	・持続可能社会を目指して	a: 家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき，短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して，経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 b: 現在の経済社会と家計との関係を考えながら，家庭の収入・支出・預金などについて，適切な考えをもち，判断ができる。 c: 自分の経済的自立を考えながら，家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について，積極的に理解しようとし，短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。	・考査	・考査 ・ワークシート ・レポートの作成 ・グループワーク	・ワークシート ・課題への取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度